

デング熱に気をつけましょう。

デング熱は、感染した蚊に刺されることでヒトに感染するウイルス感染症です。過度の降雨、湛水、洪水、気温の上昇、国内の気候の異常な変化により、デング熱やマラリア、チクングニアウイルスを含む他の蚊媒介性疾患の感染に好都合な環境になってきています。

デング熱は、世界中の熱帯・亜熱帯気候の都市部や半都市部で多く見られます。

国内では、平成26年8月～10月にかけて、約70年ぶりに、東京都内代々木公園及びその周辺という限られた地域で発生がありました。

デング熱は、ネッタイシマカと、ヒトスジシマカを主な媒介蚊としますが、平成26年には、ヒトスジシマカによる160例の患者発生が確認されました。多くのデングウイルス感染症は、軽度のインフルエンザ様症状のみで、80%以上が無症状ですが、発熱や頭痛、筋肉痛、全身倦怠感の症状が出る場合があります。また、デング熱に特異的な治療法はありません。

これから海外の流行地域に旅行する方は、蚊に刺されないよう長袖・長ズボンの着用や防虫剤の使用等、十分注意してください。また、海外から帰国した場合には、発熱等の症状に留意し、適切に医療機関を受診してください。

(参考)

- ・「デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症等の媒介蚊対策<緊急時の対応マニュアル>」(国立感染症研究所ホームページ)
(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/lab/478-ent/8757-2019-04-23-09-18-40.html>)
- ・蚊媒介感染症専門医療機関一覧 (一般社団法人 日本感染症学会ホームページ)
(https://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=25)
- ・海外感染症発生情報 (厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ)
(<https://www.forth.go.jp/topics/fragment4.html>)